

自動腹膜透析（APD）をはじめる患者様へ

腹膜透析導入パス【04009-00】

患者氏名： _____様 入院病棟： _____病棟 主治医： _____受け持ち看護師： _____No1/3

日付	/		
入院日数	1日目	2日目	
イベント	入院日	手術前 手術後	
目標 毎日看護師と評価します	- 手術のオリエンテーション内容がわかる - 全身麻酔で手術を受けられるように全身状態が落ち着いている	- 体温・脈拍・血圧・酸素の値が医師の指示の範囲無いて経過する - 腰椎麻酔ができる全身状態である - 手術について理解できる  	- 体温・脈拍・血圧・酸素の値が医師の指示の範囲内で経過する - 異常な出血がない - 安静を守ることができる  
内服注射	持参された薬は病棟担当薬剤師が内容の確認を行います    	- 尿の管をいれます - 手術に呼ばれたら点滴を始めます - 朝薬から内服中止してください  	- 手術中に抗生剤の点滴を行います - 翌日まで点滴を続けます 
検査	- 胸部・腹部レントゲン・心電図・採血があります - 身長・体重を測定します 	- 起床後に体重を測定して下さい。 - 病室で体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります  	腹部レントゲンの検査を行います 
治療処置	弾性ストッキングのサイズを測ります（病院で準備します）	- 弾性ストッキングをはきます（看護師がお手伝いします） - カテーテルを入れる場所に印を付けます	
食事飲水	- 糖腎食（医師の指示による） - 時以降、食事はできません （水、お茶は摂取できます） 	時より絶飲食となります 	- 医師の許可があれば3時間後から酸素を外し水を飲めます - 夕食は食べられません
清潔	シャワー浴を行います（時間は看護師と相談します）		- 発汗がある場合には清拭します - ベット上で洗面・歯磨きを行います
排泄	入院中は尿をためてもらい1日の尿量を測定します	手術中に尿の管が入ります	排便はベット上で差し込み便器を使用します
安静活動	特に制限はありません		- ベット上安静です - 寝返りや起き上がりは看護師に声をかけてください
説明指導	麻酔科医・手術室の看護師が説明にきます	- 手術に行くときには、時計・めがね・指輪・入れ歯などは外します - 手術室にはベットで行きます	家族の方へ手術を行った医師から説明があります

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

自動腹膜透析（APD）をはじめる患者様へ

腹膜透析導入パス【04009-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No2/3

日付	／ ／		／ ～ ／		／ ～ ／		／ ～ ／			
入院日数	3日目		4～5日目		6～8日目		9～11日目		12～14日目	
イベント	手術後1日目		手術後2～3日目		手術後4～6日目		手術後7～9日目		手術後10～12日目	
目標 毎日看護師と 評価します	・PD療法の概要と自己管理の必要性を理解できる ・鎮痛剤で痛みが落ち着き離床できる				・腹膜透析を行なうための必要な知識・手技が習得できる ・在宅療法に必要な知識を習得できる ・38度以上の発熱がない					
内服 注射	・PD療法の概要と自己管理の必要性を理解できる ・鎮痛剤で痛みが落ち着き離床できる		・持参された内服薬を内服します（指示により変更となる場合もあります） ・必要時に点滴を行なうことがあります							
検査	・7時頃採血を行ないます 		・医師の指示で数日おきに採血、尿検査があります ・レントゲンも必要時行ないます ・起床時に体重を測定してください  							
バッグ交換	・腹膜洗浄 1日1回（ ： ）初めは看護師か医師が腹膜洗浄を行いますが、体調に合わせて術後2日後くらいから指導の下でご自身でも実施していただきます ・カテーテル刺入部の消毒・ガーゼ交換を行ないます ※薬剤・日程は医師の指示により変動することがあります 				・腹膜日中貯留1日3回 入れ替え 1回量（ ml） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ）		・腹膜日中貯留1日3回入れ替え 1回量（ ml） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ）		・腹膜日中貯留1日3回入れ替え 1回量（ ml） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ） （ ： ～ ： ）	
処置	・刺入部はテープ（カラヤ）で保護されています ・浸出液があればガーゼで保護します							・刺入部の保護を外します ・毎日カーゼを交換します		
食事 飲水	・朝食はありません ・回診で医師の許可があれば昼食から配膳されます（腎不全食）		・糖腎食（医師の指示による） ・朝6時から翌日の6時まで飲水量を確認します（水分制限する場合があります）  							
清潔	・清拭を行います（シャワー浴はできません）					・医師の許可で刺入部を保護してシャワー浴が可能になります ・刺入部の観察を行うので17時までの時間で予約します				
排泄	・回診で医師の許可が出たら尿の管を抜いてトイレでの排尿をしていただきます ・朝6時から翌朝6時までに尿と便の回数を確認します ※尿を貯めてもらい一日の尿量を確認します									
安静 活動	・特に制限はありません									
説明 指導	・手技：清潔のポイント（P10） ・手技：バッグの交換について（P12）		・知識：PDの感染症（P20） ・緊急時とその対応（身体）（P28） ・緊急時とその対応（操作ミス）（P30）			・手技：出口部の観察と清潔について（P16）		・知識：PDの食事（P22） 栄養士から栄養指導があります ・知識・検査値とお薬について（P24）		

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

自動腹膜透析（APD）をはじめる患者様へ

腹膜透析導入パス【04009-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No3/3

日付	／ ～ ／		／
入院日数	15～20日目		21日目
イベント	手術後13～18日目		退院日
目標 毎日看護師と評価します	• APDシステムの手技を習得し、安全に実施できる • APDのアラーム対応・コールセンターの利用方法を知る • 腹膜透析の廃液が白濁していない		
内服注射	• 持参された内服薬を内服します（指示により変更となる場合もあります） • 必要時に点滴を行うことがあります		
検査	• 医師の指示で数日おきに採血、尿検査があります • 必要時レントゲンを撮ります • 起床時に体重を測定してください 		退院基準： • 刺入部の乾癬兆候がない • APD操作が習得できる
バッグ交換	• 医師の指示により腹膜透析（APD）を行います • 日中の貯留は行いません（指示により貯留する場合があります）		
処置	• 刺入部のガーゼ交換を行ないます • 消毒方法、シャワー浴の方法について説明します 		
食事飲水	• 糖腎食に変更になります（医師の指示） • 朝6時から翌朝6時までの飲水量を確認します（水分制限する場合があります）		
清潔	• 医師の許可で刺入部を保護してシャワー浴が可能になります • 刺入部の観察を行うので17時までの時間で予約します		• 医師の指示によりカテーテル刺入部を保護せずシャワー浴が可能です • カテーテル刺入部は石鹸で優しく洗い、ガーゼをあてます
排泄	• 朝6時から浴朝6時までの尿と便の回数を確認します ※尿を貯めてもらい1日の尿量を確認します		
安静活動	• 特に制限はありません		
説明指導	• 機械業者が来て、設定と説明を行います • 退院後の透析液等の配送日の確認をします • 手技：APDへの切り替え指導 • 手技：測定と記録 • APD記録ノートへの記入 • 知識：APDアラーム時の対処方法（コールセンター利用）	• 手技：出口部の観察と清潔について（P16） • 手技：カテーテルとシャワー浴・入浴（P18）	• 日常生活の注意ポイント（P26） • 退院までの準備確認（P32） • 退院されるあなたへ（P34） • 透析室看護師が外来受診に関しての説明に伺います 

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります